

平成19年12月11日

三井化学株式会社  
三西化学工業株式会社

### 三西化学工業(株)工場跡地の土壌調査結果について

九州新幹線工事現場（JR九州鹿児島本線荒木駅構内）の土壌から、ダイオキシン類及び農薬が検出されたことを受け実施いたしました、三西化学工業（株）工場跡地の土壌調査（表層部分）の結果について、下記のとおりご報告いたします。

今後、この土壌調査（表層部分）の結果をもとに、福岡県及び久留米市のご指導の下、土壌の深さ方向の調査を実施してまいります。

なお、工場跡地の地下水調査結果の公表後、福岡県及び久留米市のご指導を受け実施いたしました、農薬の埋設が疑われる区域の確認調査につきましては、現在分析中であり、結果が分かり次第、速やかに公表いたします。

#### 記

1. 調査箇所

三西化学工業（株）工場跡地（久留米市荒木町白口1861）

2. 調査種別

三西化学工業（株）工場跡地の土壌（表層部分）

3. 調査項目

- ・農薬類（PCP, CNP, BHC, DDT）
- ・ダイオキシン類
- ・土壌汚染対策法の全25項目

4. 調査結果

別紙のとおり

5. 調査実施者

三井化学（株）、三西化学工業（株）  
（県と市の監督下で実施）

6. お問い合わせ先

三井化学（株）大牟田工場  
福岡県大牟田市浅牟田町30  
総務課 電話（0944）51-8111  
FAX（0944）51-8128

以上

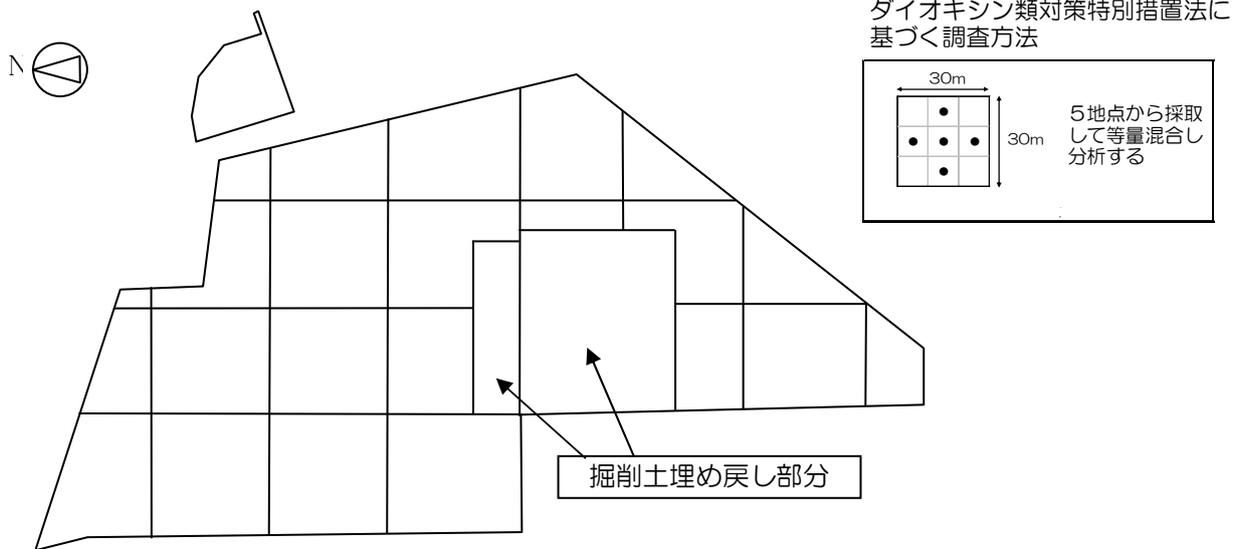
# 三西化学工業(株)工場跡地の土壌調査結果

調査項目		単位	基準等	調査 検体数	基準等を超過 した検体数	測定値
農薬	PCP	mg/L	0.009	26	13	0.0019～2.4
	CNP	mg/L	0.0001	26	21	不検出～0.21
	BHC	mg/L	0.0025	155	110	不検出～19
	DDT	mg/L	0.0125	155	0	不検出
ダイオキシン類		pg-TEQ/g	1,000	26	20	130～94,000
土壌 汚染 対策 法 項 目	ベンゼン	volppm(※1)	土壌中のガスから 検出されないこと	26	7	不検出～2.0
	セレン及びその化合物	mg/L (溶出量)	0.01	155	1	不検出～0.011
	ふっ素及びその化合物	mg/L (溶出量)	0.8	155	66	不検出～5.6
	鉛及びその化合物	mg/kg (含有量)	150	155	1	3～450
	その他の項目	別添	別添	155(※2)	0	基準値以下

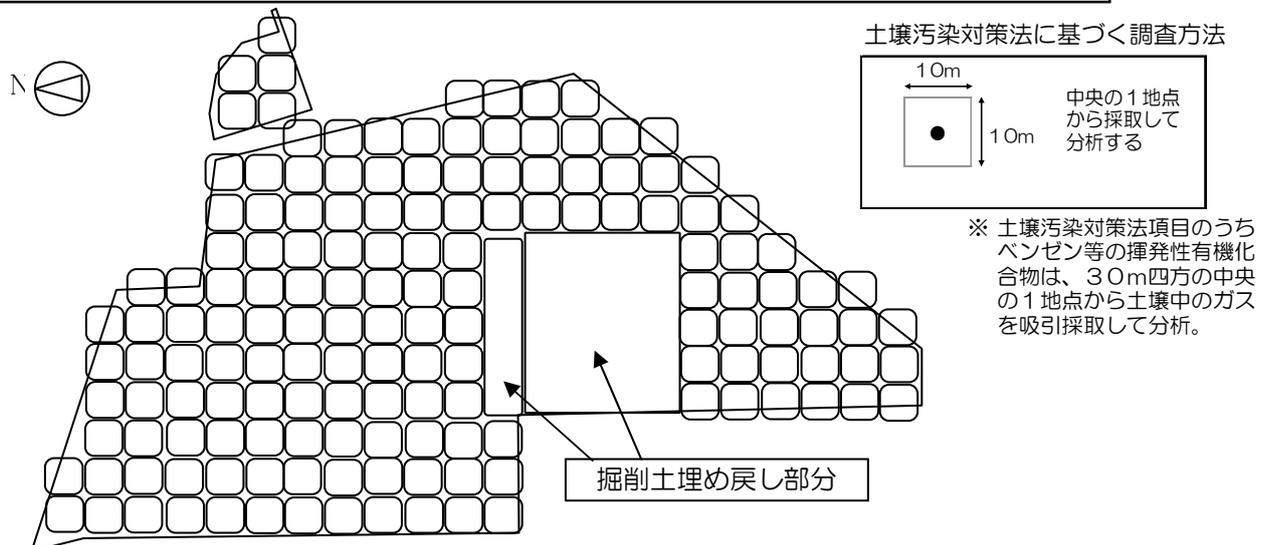
※1 volppm: ガス1立方メートルに含まれる体積(立方センチメートル)

※2 ベンゼン等の揮発性有機化合物の調査検体数は26検体

## PCP、CNP、ダイオキシン類の26調査区画



## BHC、DDT、土壌汚染対策法項目の155調査区画



### 土壌汚染対策法項目(その他の項目)

		調査項目		基準値
土壌汚染対策法項目	第1種特定有害物質 (揮発性有機化合物)	四塩化炭素	土壌ガス	土壌中のガスから検出されないこと
		1,2-ジクロロエタン	土壌ガス	土壌中のガスから検出されないこと
		1,1-ジクロロエチレン	土壌ガス	土壌中のガスから検出されないこと
		シス-1,2-ジクロロエチレン	土壌ガス	土壌中のガスから検出されないこと
		1,3-ジクロロプロペン	土壌ガス	土壌中のガスから検出されないこと
		ジクロロメタン	土壌ガス	土壌中のガスから検出されないこと
		テトラクロロエチレン	土壌ガス	土壌中のガスから検出されないこと
		1,1,1-トリクロロエタン	土壌ガス	土壌中のガスから検出されないこと
		1,1,2-トリクロロエタン	土壌ガス	土壌中のガスから検出されないこと
		トリクロロエチレン	土壌ガス	土壌中のガスから検出されないこと
	第2種特定有害物質 (重金属類)	カドミウム及びその化合物	溶出量	検液1Lにつきカドミウム0.01mg以下であること
			含有量	土壌1kgにつきカドミウム150mg以下であること
		六価クロム化合物	溶出量	検液1Lにつき六価クロム0.05mg以下であること
			含有量	土壌1kgにつき六価クロム250mg以下であること
		シアン化合物	溶出量	検液中に検出されないこと
			含有量	土壌1kgにつき遊離シアン50mg以下であること
		水銀及びその化合物	溶出量	検液1Lにつき水銀0.0005mg以下であり、かつアルキル水銀が検出されないこと
			含有量	土壌1kgにつき水銀15mg以下であること
		セレン及びその化合物	含有量	土壌1kgにつきセレン150mg以下であること
		鉛及びその化合物	溶出量	検液1Lにつき鉛0.01mg以下であること
		砒素及びその化合物	溶出量	検液1Lにつき砒素0.01mg以下であること
			含有量	土壌1kgにつき砒素150mg以下であること
		ふっ素及びその化合物	含有量	土壌1kgにつきふっ素4000mg以下であること
		ほう素及びその化合物	溶出量	検液1Lにつきほう素1mg以下であること
	含有量		土壌1kgにつきほう素4000mg以下であること	
	第3種特定有害物質 (農薬類)	シマジン	溶出量	検液1Lにつき0.003mg以下であること
		チウラム	溶出量	検液1Lにつき0.006mg以下であること
		チオベンカルブ	溶出量	検液1Lにつき0.02mg以下であること
		PCB	溶出量	検液中に検出されないこと
		有機りん化合物	溶出量	検液中に検出されないこと

注) 溶出量：土壌中の有害物質がどの程度水に溶け出すかを測定した量

含有量：薄めた塩酸(1mol/L)の中で土壌を2時間振り混ぜ、土壌中の重金属類がどの程度溶け出すかを測定した量(土が口に入ってしまうことで、土壌中の重金属類が体内に取り込まれることを想定した試験)